



さよかい

女性心理臨床ラボ主催2026年間講座 小夜会のご案内

—自分と出会うため、夜に学ぶ・語る—



年間オンライン講座「小夜会」は、今年度で6年目を迎えます。
月1回の夜のこの時間は、仕事や家事などで大忙しの日常を離れて、
静かに講義に耳を傾けて、ゆっくりと心を動かしていただく、自分のための時間です。
質問やケース発表はご希望により可能ですが、基本的にはビデオマイクオフの状態でご参加できます。

参加者は若手の方からベテランまで幅広く、若手の方にも大変理解しやすい内容だという感想をいただいています。

各領域で第一線の講師陣による、日々の臨床実践の中からの知見は、なによりのエンパワメントになります。

ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。



参考テキスト
好評発売中
金剛出版、2022

申込

<https://forms.gle/UCdHdtQnCYZr9kzw7>

申込フォーム(右QRコード)で受付後、
参加の可否や振込先をご案内します(締切:2026年4月3日)



期間

2026年4月～2027年2月 全10回 (8月は夏休み)

日時

月1回、金曜日21時～23時(11月のみ水曜日19時～21時)

定員

40名

料金

5万円(継続受講の方は3万5千円。単回受講の場合1回6千円)

対象

心理援助の専門職(守秘義務のある方に限ります・性別は不問です)

場所

オンライン(Zoom)

内容

前半:講義 後半:質疑応答、受講生(希望者)によるケース検討と講師によるSVなど

「臨床心理士」の研修機会承認申請予定

(定例型研修会(年6回以上、合計20時間以上):1年間の継続参加者=4ポイント)

お問い合わせE-mail

fpcl.yoyogi.office@gmail.com

特定非営利活動法人 女性心理臨床ラボ <https://fpcl.jp/> は、

「女性であること」を軸として、こころの問題に向き合うためのカウンセリングセンターです

2026講師・講義内容紹介

さよかい

※年間講座 小夜会 は、原則月1回、金曜日21時から23時まで

…後半に受講生(希望制)によるケース提示を予定する夜

第1夜 4月24日(金) 笠井さつき

NPO法人女性心理臨床ラボ代表 田園調布学園大学心理学科 臨床心理士・公認心理師
『小夜会の夜に語り継がれるもの ～ これまでとこれから ～ 』

第2夜 5月29日(金) 若佐美奈子先生

神戸女学院大学 心理学部 臨床心理士・公認心理師
『臨床で感じる「違和感」や「距離感」～ その感覚を臨床に活かす精神分析的視点 ～ 』

第3夜 6月26日(金) 富樫公一先生

甲南大学文学部 米国TRISP自己心理学研究所訓練分析家、栄橋心理相談室精神分析家
『私たちはなぜ臨床実践をするのか ～ 偶然の出会いと他者の呼びかけ ～ 』

第4夜 7月24日(金) 舘野由美子先生

虎の門病院心理部 臨床心理士・公認心理師
『社会やコミュニティはどのように個人の内的世界に取り込まれるのか』

第5夜 9月25日(金) 金生由紀子先生

全国療育相談センター 児童精神科医
『とらわれやこだわりについて育ちの中で考える ～ トウレット症候群のある人と家族を通して ～ 』

第6夜 10月23日(金) 毛利伊吹先生

上智大学総合人間科学部心理学科 臨床心理士・公認心理師
『認知行動療法のシングルセッションセラピー ～ クライエントのニーズに応える工夫 ～ 』

第7夜 11月18日(水) 赤穂理絵先生 ※この回は、水曜日、19時から21時

東京共済病院緩和ケア内科 精神科医
『身体疾患診療におけるリエゾン精神科医の目線 ～ 重症疾患患者の心に寄り添う ～ 』

第8夜 12月18日(金) 松木邦裕先生

京都大学名誉教授・日本精神分析協会会員
『恐怖 ～ こころの臨床で体験するものをどうしたらいいのか ～ 』

第9夜 2027年1月29日(金) 鈴木菜実子先生

駒澤大学文学部 心理学科 臨床心理士・公認心理師
『心理療法を学び続けること ～ 精神分析と社会 ～ 』

第10夜 2027年2月19日(金) 笠井清登

東京大学医学部附属病院精神神経科 精神科医
『見えにくいディスアビリティに気づくケア ～ 22q11.2欠失症候群の当事者・家族からの学び ～ 』

特定非営利活動法人 女性心理臨床ラボ <https://fpcl.jp/> は、

「女性であること」を軸として、こころの問題に向き合うためのカウンセリングセンターです